

## IV 事業概要

### 1 学芸事業

#### 【1 展示関係】

#### ② 理工系展示

理工系展示は「科学への入り口」として宇宙船をイメージした構造物「シップ」とそのまわりにある4つのコーナーから構成されている。シップ内には「真ん中はどこ」, 「長さを調べてみよう」など, 五感を働かせて確かめる展示物が設置されている。シップの外には, 展示室全体に放射状に配置された「元素の柱」があり, 理工系展示を象徴する展示物になっている。



理工系のシップ

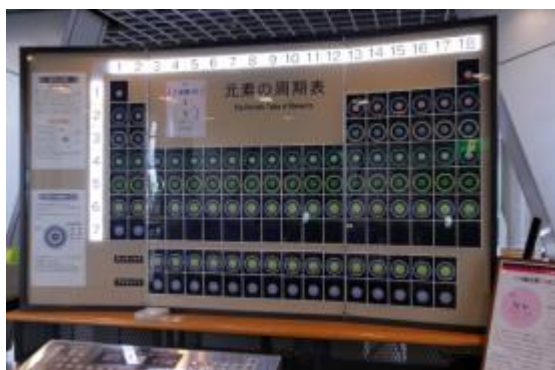
「電気と磁気はともだち」コーナーは, 電気を帯びたつぶ-電子-のふるまいやソーラーカーなど, 電気や磁石のはたらきによって起こる現象を確かめることができる装置が設置されている。

「身の回りのおもしろ実験」コーナーでは, 音や光, 波などの性質や, 気圧, 水圧, 浮力など身近な自然現象の原理を確かめることができる展示物を集めている。アルキメデスの実験, スタンディングウェーブなどが置かれている。

「化学のふしぎな世界」コーナーは, 香りファクトリー(エステル合成と香りブレンド)や中性にチャレンジ(中和反応), やみに浮き上がる光(ルミノール反応)など, 全国的にもめずらしい化学実験装置が設置されている。

「仙台の発明宝箱」コーナーでは, 仙台発信の発明や技術を紹介している。西澤潤一博士の光通信, 本多光太郎博士のK S 鋼, 八木秀次博士と宇田新太郎博士のアンテナを利用した展示物がそれぞれ設置されている。また, 田中耕一氏ノーベル化学賞受賞記念展示物「レーザーを用いたソフトイオン化法」, 西澤潤一博士の業績をたたえて米国電気電子学会 (IEEE) に創設された「西澤メダル」のレプリカを展示している。

平成 29 年度は新元素ニホニウムの決定を受けて, 「元素の周期表」の改修を行った。また, 「音を伝える光」の動作機構を一部変更した。



元素の周期表



音を伝える光